

2025年度第11回事務長部会・幹事会調査研究について

1 検討項目 「医薬品・診療材料 ～コストの実態と対策等～」

2 検討の論点

貴院の現状や今後の方向性などを踏まえ、可能な範囲で、以下の論点により、重要なポイントを中心にご報告等願います。

(1) 医薬品・診療材料コストの現状把握

- ・医薬品費、診療材料費の総額と医業収益に占める割合
- ・過去数年(3～5年)の推移(増減傾向・要因分析)
- ・病院規模、機能別(急性期/回復期/慢性期など)の特徴
- ・高額医薬品、高額医療材料の使用状況(上位品目)

(2) 医薬品・診療材料の使用実態

- ・診療科別、医師別の使用傾向
- ・標準治療・ガイドラインとの整合性
- ・後発医薬品(ジェネリック)の使用率
- ・同種同効品の重複採用状況
- ・過剰使用、不適切使用の有無と課題

(3) 採用・購買・価格交渉の実態

<採用決定プロセス>

- ・薬事委員会・材料委員会の運用状況
- ・医師主導、事務主導、共同判断の実態

<購買形態>

- ・単独購入、共同購入(GPO等)
- ・卸業者との契約形態、SPD等

<価格交渉の実態>

- ・年間交渉回数
- ・交渉主体(事務長、事務部門、外部委託等)
- ・交渉の成果と課題

(4) 在庫管理・ロス対策

<在庫管理方法 SPD導入実績の有無>

- ・システム管理、手作業管理

- ・定数管理、適正在庫の設定状況
- < 廃棄・期限切れロスの実態 >
- ・医薬品、診療材料別の廃棄額
- ・主なロスの発生原因
- < 手術材料・特定保健医療材料の管理体制 >
- < 在庫削減・回転率向上の取組事例 >
- (5) 高額医薬品・高額材料への対応
 - ・抗がん剤、バイオ製剤等の使用管理
 - ・使用基準、事前承認制の有無
 - ・レセプト請求漏れ、算定漏れ防止策
 - ・使用料増加に伴う財務影響の評価
 - ・医師へのコスト意識共有の工夫
- (6) 医師・職員との連携と意識改革
 - < 医師への情報提供 >
 - ・原価・収支への影響の見える化
 - ・使用実績データの共有
 - < 多職種連携(薬剤部・看護部・事務部門) >
 - < コスト削減と医療の質のバランス >
 - < 現場理解を得るための説明・合意形成の工夫 >
- (7) 外部環境の変化への対応
 - ・薬価改定、材料価格改定の影響
 - ・医療 DX (SPD, 在庫管理システム等) の活用状況
 - ・今後の制度改定を見据えた対応策
- (8) 現在の課題と今後の方針
 - ・コスト削減が進まない要因
 - ・医師主導と経営管理のバランスの難しさ
 - ・成功事例、失敗事例の共有
 - ・他病院との情報共有・共同購入への期待

以 上